

体験導入ワークショップ（機器貸出） ～介護テクノロジーマッチングに向けて～

介護テクノロジー紹介シート

企業名 : 株式会社トータルブレインケア

企業 URL : <https://tbcare.jp/>

※ A4 2面（裏表）一枚に、1機種種の情報が収まるよう、以下をご記入ください。

1 製品／サービスの活用場面 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 居室 トイレ 個室 個室脱衣所 特殊浴槽 特殊浴槽脱衣所
- 食堂 多目的ホール（共有リビングスペース） 看護・介護ステーション リハビリ室
- 会議室 事務室 送迎車 その他（)

2 製品／サービスの分類 下記の項目で、あてはまる主なものに1つに○をつけてください

- 見守り支援 移乗支援 移動支援 入浴支援 排泄支援 食事支援
- リハビリ支援 介護記録等 介護業務支援 居室環境等管理支援 ヘルスケア
- その他（)

3 製品／サービスの特徴

被介護者の「その人らしい」暮らしの実現に向けた個別ケアの取組をどのように進めていか決まっていない・わからない に対し、 被介護者の個々の認知機能特性を可視化する事で職員全員の被介護者への理解が深まり、ケアがやりやすくなり、介護者の負担が減り結果として介護離職防止 することができる

4 製品／サービスで期待できる効果 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者の身体的負担軽減 介護者の精神的負担軽減 介護スタッフ間の連携強化
- 被介護者の安全確保 被介護者の QOL 向上 被介護者と介護スタッフとのコミュニケーション充実
- 人材育成・定着促進 周辺業務の効率化・省力化 業務全体のマネージメント向上

5 製品／サービス名・写真

製品名／サービス名 : 脳体カトレーナーCogEvo（コグエボ）

製品／サービスの URL : <https://cog-evo.jp/>

製品／サービスの写真・動画 ※1機種種の写真や動画 URL を載せてください

<https://vimeo.com/734595315/a4246c4328>



6 製品／サービスの概要（想定価格も含む）

CogEvo はタブレットパソコン等を活用したエビデンスのある認知機能評価ツールです。クラウドシステムなのでネット環境があれば屋内外を問わず利用できます。認知機能の「計画力」「記憶力」「空間認識力」「見当識」「注意力」を 5 種のタスクで評価し、数値データで確認できます。在宅向けの「おうちトレーナー」も搭載。利用人数・回数は無制限。法人登録費用（80,000 円/初回のみ）デバイス登録費用（20,000 円/1 デバイス初回のみ）月額利用料（15,000 円

7 製品／サービスの主な対象者 下記の項目で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

- 介護者（施設ケア） 介護者（在宅ケア） 被介護者（施設ケア） 被介護者（在宅ケア）
 リハビリ利用者（集団） リハビリ利用者（個別） 管理者（スタッフ管理） 管理者（利用者管理）

8 想定している被介護者の状況

- 想定できていない・検討中 → ⑨ にすすむ
 被介護者の状態無関係に利用可能 → ⑨ にすすむ
 被介護者の状態次第にて利用可能 → 下記の項目毎で、あてはまる主なものに○をつけてください（複数回答可）

製品に対する**対象者**や**被介護者の状況**について、迷われている企業は協会にて支援致します。
本プロジェクト相談窓口よりご相談ください。

介護保険制度 要介護認定

- 要支援 1、2 要介護 1 要介護 2 要介護 3 要介護 4～5

障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度） 参考：厚生労働省「障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)」

- 自立 ランク J（生活自立） ランク A（準寝たきり）
 ランク B（寝たきり/座位保つ） ランク C（寝たきり）

認知症高齢者の日常生活自立度 参考：厚生労働省「認知症高齢者の日常生活自立度」

- 自立 ランク I ランク II (a・b) ランク III (a・b) ランク IV ランク V

自社独自の分類

- ・被介護者は自立～要支援 2 程度の方まで
- ・介護者も自身の認知機能について知る事で被介護者への理解が深まり、コミュニケーションにも役立つ
- ・送迎ドライバーを含む職員様のヒヤリハット対策としても有効

9 製品／サービスの使用上における制限（身体面・環境面含む）・禁忌及び注意事項

- ・ユニバーサルデザインで設計されているが、視覚障害のある場合は、画面を確認できないため操作が困難。
- ・安定したインターネット環境があれば、屋内外を問わず利用できる
- ・介護者の方、被介護者に限らず、認知機能 = 認知症とネガティブに捉える方が多いので、使用する際にも認知症という言葉をできるだけ使わず、脳活、脳体力測定など前向きな言葉で後押しすることが望ましいと考えております

10 製品／サービスの導入事例（写真やイメージ図含む）

